平成18年度第2四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書の前年度同期実績との比較について

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
新車購入時預託	603万台	271万台	281万台	△10万台
継続検査時等預託	2,141万台	1,218万台	1,561万台	△343万台
引取時預託(※1)	115万台	113万台	125万台	△12万台
引取時預託(※2)	27万台	8万台	2万台	6万台
合計	2,887万台	1,610万台	1,969万台	△360万台

(※1)エアコン後付預託を除く。

(2)品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
ASR	約6,400円	6,222円	6,256円	△34円
エアバッグ類	約2,300円	2,286円	2,235円	51円
フロン類	約2,100円	2,081円	2,105円	△24円
合計	約10,800円	10,589円	10,595円	△6円

(3)品目別の装備率

	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
エアバッグ類	72%	69%	58%	11
フロン類	95%	89%	82%	8

(4)金額

平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
286,265,559千円	154,932,630千円	182,542,296千円	△27,609,666千円

【継続検査時等預託について】

継続検査時等預託における普通貨物車等の預託が前年度でもってほぼ完了しているため、平成18年度第2四半期の継続検査時 等預託台数は前年度同期実績を下回っている。

【引取時預託(エアコン後付預託を除く)について】

引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)の比率が低下している)ことから、平成18年度第2四半期の引取業者引取時の預託台数(エアコン後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回っている。

なお、平成18年度の引取業者引取台数に対する引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)の比率が当初想定を上回っていることから、平成18年度第2四半期の引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)は平成18年度年間予算想定台数の98%にまで達した。

①継続検査時等預託において、装備率が比較的低いと想定される貨物車の預託が終息に向かい、乗用車の預託比率が高まっていると想定されること、②継続検査時等預託台数の減少に伴い装備率が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっていることから、平成18年度第2四半期の装備率は前年度同期実績を上回っている。

情報管理預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成18年度		平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
新車購入時預託	603万台	271万台	281万台	△10万台
継続検査時等預託	2,141万台	1,218万台	1,561万台	△343万台
引取時預託	115万台	113万台	125万台	△12万台
合計	2,859万台	1,601万台	1,967万台	△366万台

(2)金額

平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
6,576,418千円	3,682,406千円	2,557,001千円	1,125,405千円

平成18年度第2四半期の預託台数は前年度同期実績を下回っているが、1台当たりの情報管理預託金が前年度の130円から平成 18年度は230円となっていることから、平成18年度第2四半期の情報管理預託金預り収入の額は前年度同期実績を上回っている。

^(※2)エアコン後付預託のみ。

②特定資産運用収入一再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平月	战18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年	間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
	5,840,662千円	2,480,651千円	639,171千円	1,841,481千円

保有債券残高の積み上がり等により平成18年度第2四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

【参考】保有債券残高

平成18年度	平成17年度	実績対前年度差異
第2四半期末残高(a)	第2四半期末残高(b)	(a) - (b)
5,521億円	2,197億円	3,324億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
ASR	342万台	175万台	128万台	47万台
エアバッグ類	69万台	34万台	20万台	15万台
フロン類	273万台	133万台	102万台	30万台

平成18年度の引取業者引取台数は前年度を上回るペースで推移しているため、平成18年度第2四半期の払渡台数は前年度同期実 績を上回っている。

【参考】引取業者引取台数

平成18年度	平成17年度	実績対前年度差異
第2四半期実績(a)	第2四半期実績(b)	(a) - (b)
179万台	144万台	35万台

(2)品目別の平均単価

	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
ASR	約5,900円	5,901円	5,848円	54円
エアバッグ類	約1,900円	1,856円	1,841円	15円
フロン類	約2,100円	2,092円	2,090円	2円

(3)金額

平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) – (b)
27,184,521千円	13,744,411千円	9,974,801千円	3,769,611千円

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
342万台	188万台	145万台	44万台

(2)金額

平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
576,680千円	339,650千円	187,942千円	151,708千円

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

I	平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異
	年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)
	67,243千円	27,515千円	0.4千円	27,515千円

平成16年度の利率は0.004%であったが、平成17年度の利率は0.38%であることから、平成18年度第2四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

(1)会教	②預託金輸出返還支出					輸出返還は平成17年7月から開始されたために前年度同期実績はまだ少ない。よって、平成18年度第2四半期の輸出返還台数
特別の機能	再資源化預託金等輸出法	<u>返還支出</u>				年度同期実績を上回っている。
特別の機能	(1)台数					
1375 14		平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異	
(2) 企業		年間予算	第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)	
中心19年度 中心19年度 中心19年度 大阪19年度 (東京19年度		31万台	10.4万台	0.2万台	10.2万台	
中心19年度 中心19年度 中心19年度 大阪19年度 (東京19年度	/a) A ##					
# 日	(2)金額	亚代10左座	亚芹10左连	亚芹4.7左连	边签分数左连关用	
1/32 (1974年) 1/32 (1974年) 20/4(1974年) 1/32 (1974年) 1/3						
# 不成18年度		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
中域19年度	未払再資源化預託金等				-	
1 日本学生	金額	[
2,200千円 2,200千円 0,003千円 2,200千円 415.75千円 41						
②能会計への接入金支出						
全機		/,394十円	2,260十円	0.003十円	2,260十円	
金額	③他会計への繰入金支出	1				
金額	承認·認可済特定再資源	原化預託金等特別会計への繰入金	支出			出えん先
平成18年度 平成19年度 平成17年度 決異対前年度要異 大型対前年度要異 (3) - (3) (全 類					平成18年度 平成17年度
特別	₩ IS	平成18年度	平成18年度	平成17年度	· · · · · · · · · · · · · ·	
761,556年円 761,556年円 413,578年円 347,978年円 34						
★払再責属化別託金等利息支払支出					347,978千円	
平成18年度 年間予算 平成18年度 第2四半期決算(a) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 投資活動収支の部 投資活動収入 ①特定資産取削収入 - 再資源化預託金等特定資産取削収入 金額 現代18年度 年間予算 平成18年度 第2四半期決算(a) 平成17年度 第2四半期決算(b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 機託金払該支出・預託金輸出返還支出・他会計への経入金支出の平成18年度第2四半期実積が前年度同期実積を上回っている。 (a) - (b) 現託金払該支出・預託金輸出返還支出・他会計への経入金支出の平成18年度第2四半期実積が前年度同期実積を上回っている。 (a) - (b) 現式19年度 第2四半期決算(a) 決算対前年度差異 第2四半期決算(b) (a) - (b) (a) - (b) (a) - (b) (b) (未払再資源化預託金等	·····································				
平成18年度 年間予算 平成18年度 第2四半期決算(a) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 投資活動収支の部 投資活動収入 ①特定資産取削収入 - 再資源化預託金等特定資産取削収入 金額 現代18年度 年間予算 平成18年度 第2四半期決算(a) 平成17年度 第2四半期決算(b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 機託金払該支出・預託金輸出返還支出・他会計への経入金支出の平成18年度第2四半期実積が前年度同期実積を上回っている。 (a) - (b) 現託金払該支出・預託金輸出返還支出・他会計への経入金支出の平成18年度第2四半期実積が前年度同期実積を上回っている。 (a) - (b) 現式19年度 第2四半期決算(a) 決算対前年度差異 第2四半期決算(b) (a) - (b) (a) - (b) (a) - (b) (b) (金額					
投資活動収支の部 投資活動収入 投資活動収入 ・ 検定 活動収入		平成18年度	平成18年度	平成17年度	決算対前年度差異	
投資活動収支の部 投資活動収支の部 投資活動収入 ①特定資産取崩収入 再資源化預託金等特定資産取崩収入 平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異 (a) - (b) (a) - (第2四半期決算(a)	第2四半期決算(b)	(a) - (b)	
投資活動収入		2,821千円	2,821千円	0.017千円	2,821千円	
①特定資産取崩収入 - 再資源化預託金等特定資産取崩収入 金額						
 ①特定資産取崩収入 - 再資源化預託金等特定資産取崩収入 金額 平成18年度 平成18年度 平成17年度 第2四半期決算(a) 第2四半期決算(b) (a) - (b) 32,273,736千円 16,235,670千円 10,578,186千円 5,657,484千円 投資活動支出 ①特定資産取得支出 - 再資源化預託金等特定資産組入支出 金額 平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異 総統検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少ることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。 						
金額		≨資源化預託金等特定資産取崩収 ∫	λ			 預託金払渡支出・預託金輸出返還支出・他会計への繰入金支出の平成18年度第2四半期実績が前年度同期実績を上回ってし
平成18年度 年間予算 平成18年度 第2四半期決算(a) 決算対前年度差異 第2四半期決算(b) 決算対前年度差異 (a) - (b) 32,273,736千円 16,235,670千円 10,578,186千円 投資活動支出 ①特定資産取得支出一再資源化預託金等特定資産組入支出 金額 機統検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少ることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。			<u> </u>			から、これらの支出の原資となる特定資産取崩収入の平成18年度第2四半期実績も前年度同期実績を上回っている。
# 年間予算 第2四半期決算(a) 第2四半期決算(b) (a) - (b) 32,273,736千円 16,235,670千円 10,578,186千円 5,657,484千円	並領	亚战10年帝	亚成18年帝	亚成17年帝	注 質 対前 在 使 差 思	
32,273,736千円 16,235,670千円 10,578,186千円 5,657,484千円 投資活動支出 ①特定資産取得支出-再資源化預託金等特定資産組入支出 金額 平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異 継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少ることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。						
①特定資産取得支出一再資源化預託金等特定資産組入支出 維続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少 金額 平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異						
①特定資産取得支出一再資源化預託金等特定資産組入支出 継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少 金額 平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異			-			
金額 で成18年度 で成18年度 で成18年度 でである。 では18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。 では18年度 では18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。	. 投資活動支出					
平成18年度 平成18年度 平成17年度 決算対前年度差異			±			継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少し
	①特定資産取得支出一再	·····································	Ħ			継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少しることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。
	①特定資産取得支出一再			平成17年度 【	決算対前年度差異	継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少しることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。